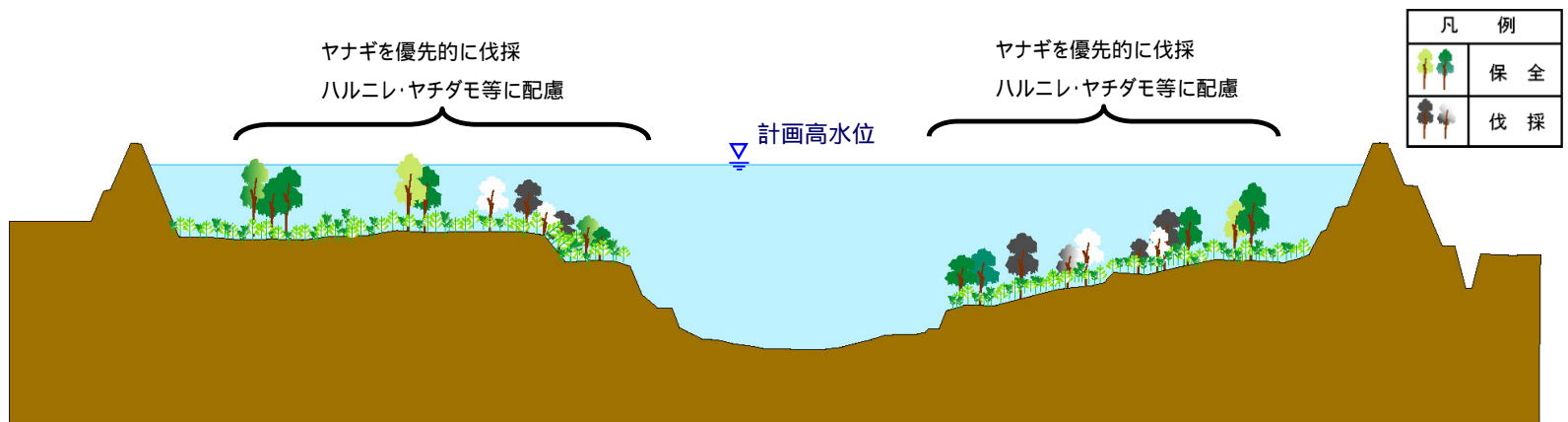


具体の取り組み

樹木の管理にあたり、ヤナギを優先的に伐採し、ハルニレ・ヤチダモ等を治水面に支障がない範囲で残すなど、樹種を含めた河道内樹木の管理を行う。

河道の掘削等にあたっては、水際の冠水頻度を高めるような掘削を行うことにより、多様性のある河岸の形成に努める。

高水敷の広い区間等では治水面に支障のない範囲で低水路の変動を許容する。



河道内樹木の管理イメージ図